



家庭・学校・地域の連携で子どもは育ちます

子どもたちの心や体を育て上げ、生活力をつけさせるのは家庭です。良い先生や良い友だちに出会い学びをさせるのが学校です。誇りと愛着、望郷の念を持って住み続けたいと思わせるのが地域です。この三者が一体となって、それぞれの立場で責任を分け合い、子どもに向き合うことで、子どもたちは地域や家庭・学校の存在を心の中にとどめながら、たくましく成長するものです。

そこで、本校では家庭・地域に協力をさせていただきながら、数々の学校行事の取り組みを進めています。

その中の一つ、「もちつき大会」が1月14日、厳しい寒さの中350名以上の方に参加いただきにぎやかに開催することができました。前日から、長生会の方々には臼や釜を搬入、PTAの方々には道具洗いなど会場の設営をさせていただきました。また5年生の子どもたちは、今年度「かつらぎ農園」で収穫したもち米約90kgの洗米を、手を真っ赤にしながらかけていました。

当日、さあいよいよ始まりです。福祉委員会のボランティアの方々には豚汁の準備、長生会やPTAの方々には蒸す・つく・丸める場所にスタンバイ、子どもたちは入場するなり満面の笑顔で、ワーワーと歓声を上げながら差し出された杵を振り上げながらもちをついたり、小さな手を粉で真っ白にしながらかけてきたもちを丸めていました。

そして、「いただきます」。お椀いっぱいに入れてもらった熱々の豚汁と黄粉もちを口にほおぼり、満足そうな顔をしていました。

最後になりましたが、地域の皆さん方のもちつきにいっしょけんめい携わっていただいている姿の一つひとつが子どもたちの心に深く刻みつけられたのではないかと思います。今後とも、家庭・学校・地域の連携をよろしくお願ひします。



図書館の本が充実しました

読書は活字からイメージを膨らませることができます。時空を超えて過去にも未来や空想の世界にも行くことができます。自分と違った人の経験や考えを学び、自分に幅ができます。また語い力もつきます。いいことづくめの読書を子どもたちに習慣づけることが大切です。

本校では、朝の会の時間に読書の時間を設けたり、休憩時間に図書室を開放するなど、子どもたちが少しでも本とのかかわりが持てるように心がけています。

さてこの度、地域の方々からたくさん本を寄贈していただきました。本当にありがとうございました。



子どもたちには集会で、みんなにたくさん本を読んでほしいという思いで、いただいたこと、そして、その期待に答えるよう読書に励んでほしいという話をしました。

おうちでも、子どもたちがすすんで読書ができるよう、読書の楽しさを伝えていただけたらと思います。

8日は授業参観です

2月8日(水)は授業参観です。3学期に入り1カ月がたった子どもたちの様子を見ていただけたらと考えます。

お忙しいとは思いますが、皆さんお誘い合わせのうえ、お越しください。

集団下校訓練

1月25日に本年度3回目の集団下校訓練を実施しました。最近、葛城校区内でも、不審者出没の情報が寄せられました。子どもたちの登下校時の安全を確かなものとするためにも訓練は欠かせません。

今回で3回目ということもあり、子どもたちはテキパキと集合し、上級生が下級生の世話をしながら、整然と並んで下校できました。

また平素より、子ども見守り隊や地域の方々には、子どもたちの登下校時に注意をいただきありがとうございます。今後とも子どもたちの見守りにご協力いただくようお願いいたします。

外国語活動

5・6年の外国語活動の授業は、子どもたちの楽しそうな明るい声が聞こえてきます。これは、話す・聞くを通して英語に親しむため、3学期からは、より本場の英語に触れられるよう



1学期に続き布林先生にも加わってもらい授業を進めています。子どもたちの笑顔や歓声が増幅しそうで楽しみです。